

DCエクセレントカンパニー優秀賞
ガバナンス部門 事例発表
「経営を巻き込むポイント」

Global
Excellent
Manufacturing
Company

2026年7月
住友理工株式会社
人事部
比澤 修平

商号／住友理工株式会社 Sumitomo Riko Company Limited

設立／1929年（昭和4年）12月

資本金／121億45百万円

本社所在地／■グローバル本社

〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

■小牧本社

〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地

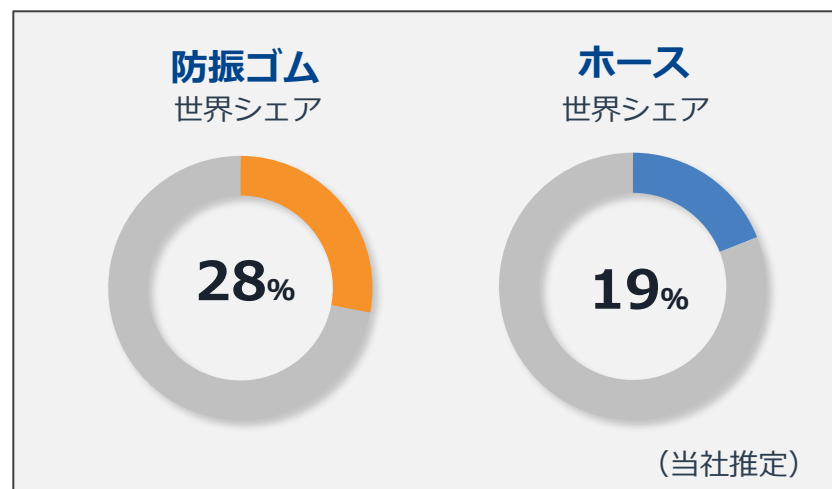
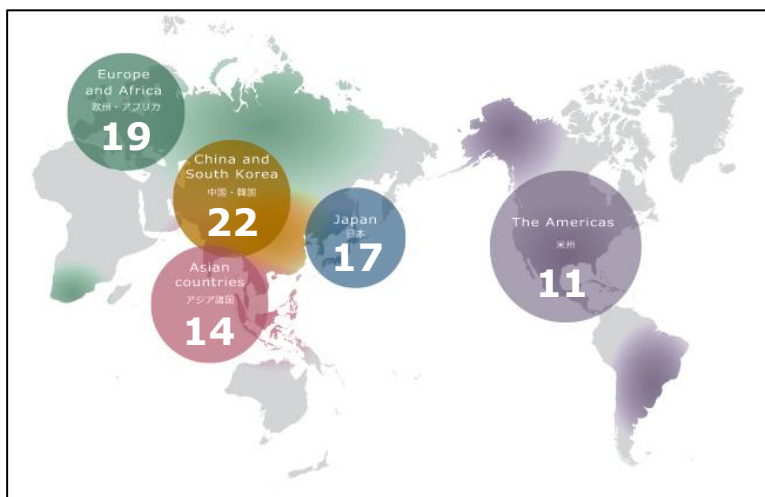
従業員数／連結 25,617名 単独 3,371名（いずれも2025年3月末現在）

主要製品／自動車用品部門

防振ゴム、ホース、制遮音品・内装品・燃料電池（FC）部材、
ゴムシール材

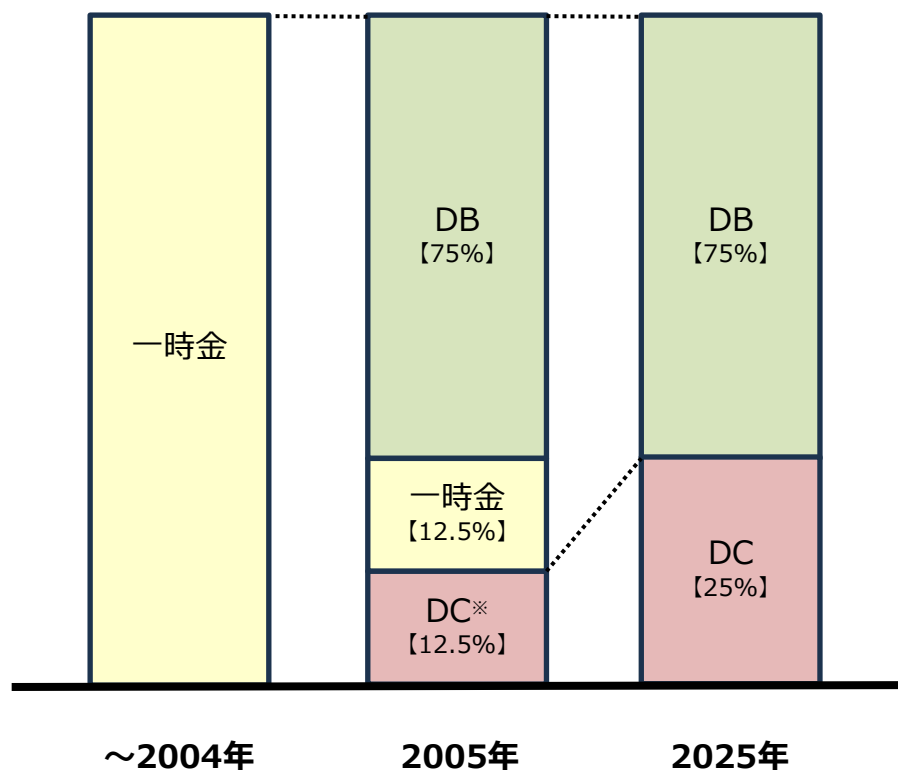
一般産業用品部門

精密樹脂ブレード・ロール、鉄道車両用・住宅用・橋梁用・
電子機器用防振ゴム、高圧ホース・搬送用ホース



<制度概要>

- ・ DB … 『勤続年数』に応じたポイント付与
- ・ DC … 『職掌等級』に応じたポイント付与



※：「確定拠出年金」または「前払い退職金」を選択可

◆制度概要◆

- ・ 2005年：DC制度開始【任意加入】
- ・ 2025年：一時金廃止→全額DCへ移行
(全従業員が「必須加入」へ)

導入	2005年
加入者数	3,775名
掛金	職掌等級に応じた「ポイント制」
その他	選択制DC「有」 【社内呼称：セカンドライフ準備金】
運用商品数	22商品
想定利回り	・ ～2024年：2.5% ・ 2025年～：2.0%

※2026年3月時点

年度	実施事項	社内教育
2005年度	確定拠出年金（DC）制度導入	随時研修（任意参加）
2015年度	運管との定期モニタリングを『2回/年（1回/半期）』へ拡大	
2018年度	選択制DC（賞与DC）制度導入 DC商品見直し①【商品追加[アクティブファンド]】	
2019年度		・ 55歳以上ライフプランセミナー
2020年度	<u>「DC基本方針」策定</u>	
2021年度		・ 技能職（若手）向けDC研修
2022年度	定期モニタリングへ <u>『経営層（担当役員）、労働組合』参画</u>	
2023年度		・ 管理監督者向け資産形成セミナー
2024年度	DC商品見直し②【商品追加[外国株式/ターゲットイヤー]】	・ 労組役員DC研修、DC全社教育
2025年度	「退職一時金」をDC制度へ移換	・ 掛長昇格者向け資産形成セミナー

Web
ラーニング
他

★金銭的な安心感



★私生活の充実



DC基本方針

基本理念（5ヶ条）

【住友事業精神】

- ①：豊かなセカンドライフを迎えられるよう、住友理工に入社して良かったと感じてもらえるよう、従業員一人一人の金融知識向上に努めること
- ②：私生活の充実と経済的な安心感の醸成に資する制度運営を行うこと（ファイナンシャル・ウェルビーイング）
- ③：DCは福利厚生制度であり、住友理工で働く従業員の権利であること
- ④：「従業員の幸せ」を実現するという信念のもと、ライフプランにおける資産形成を積極的に支援すること
- ⑤：DC教育は法令により継続的な実施が義務付けられており、従業員の理解促進に向けて適切な教育を提供すること

第二条 我住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしと雖も、苟も浮利に趨り軽進すべからず

運営協議【定期モニタリング】

<運営目的/方針>

- ・「DC基本方針」の理念に沿った制度運営となっているか、定期的に協議・監視する機会を持つこと。
- ・中長期におけるDC体制の在り方について議論する場を持つこと。

<実施時期>

- ・毎年8月、2月（1回/半期）

<協議事項>

- ・運営管理業務の実施状況確認
- ・今後の運営方針の協議
- ・継続投資教育の実施状況と効果測定
- ・採択商品の運用状況（パフォーマンス、リスク指標[シャープレシオ 等]
- ・加入者動向チェック（加入率、スイッチング動向、資産配分状況 等）
- ・法改正、制度動向などのDC関連情報の共有 ...etc.



<経緯>

運営事務局としては、より強固な「協議/ガバナンス体制」を構築したいが、完全新規の会議体設立・運営はスケジュール調整等含め困難。。

➡ 従来より実施していた「定期報告会」を拡充していく方向で対応。

【受動的参加】

運管からの報告受理

【能動的参加】

運管からの報告受理
+
現行課題や運営
について協議する機会

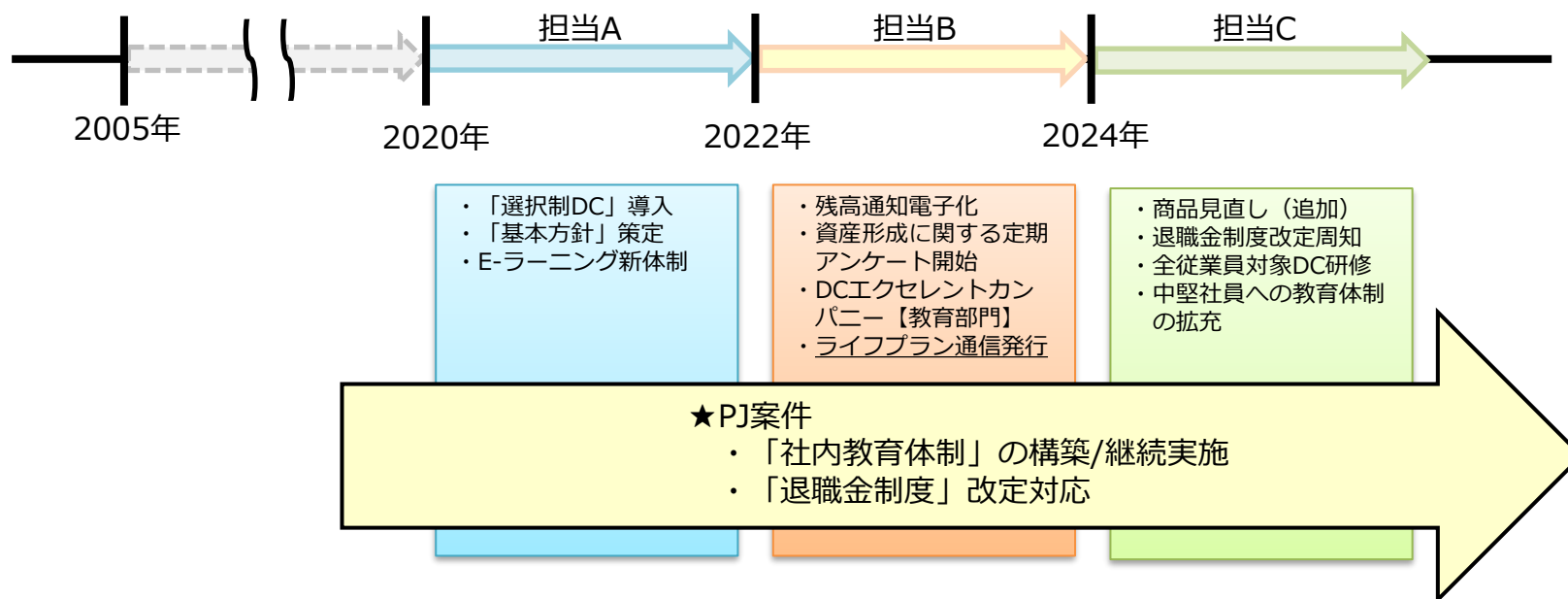
- ・機会の増加（年1回⇒年2回）
- ・「労働組合/経営層」の参画

◆運営事務局（人事）の実施事項

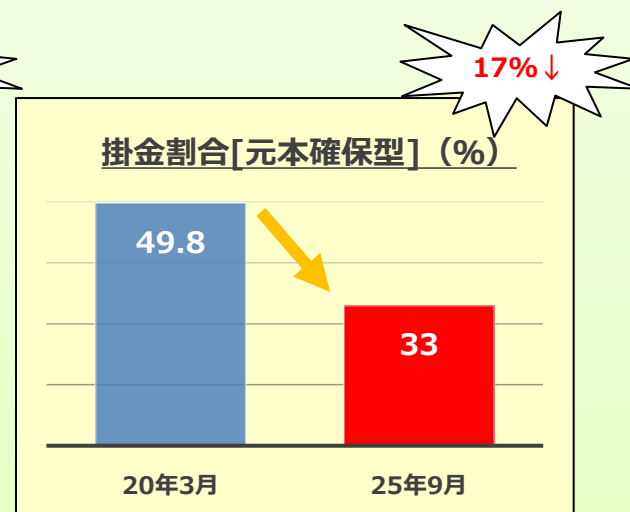
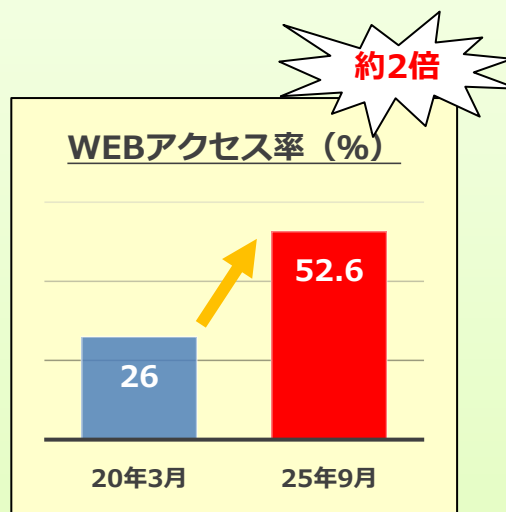
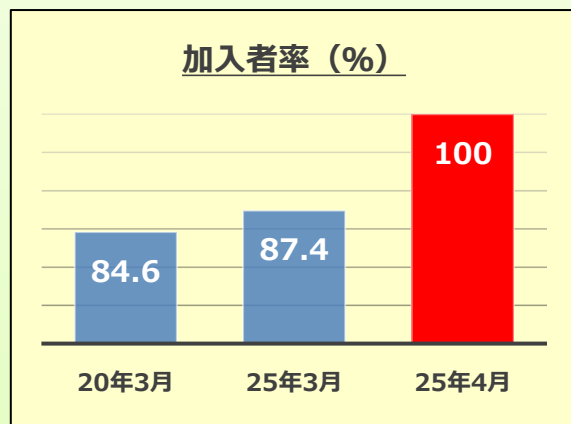
- ・制度運営業務の実施状況共有/確認
➡定例MTGを「1回/2週」実施【開催数：年間24回+a】

<協議事項>

- ・採択商品の運用状況確認（各ベンチマーク指数・パフォーマンス実績、リスク度合い 等）
- ・加入者動向チェック（加入者率推移、商品スイッチング動向、資産配分状況 等）
- ・継続教育の運営体制構築、実施状況や実施効果測定共有
- ・法改正、制度動向等のDC関連情報の情報入手、共有
- ・定期周知活動（HR News、ライフプラン通信、その他社内報ほか）
- ・今後の運営方針の協議 等々



KPI推移グラフ



◆KPI

- ・「退職金制度改定」や「社内継続教育」により、設定したKPIの各項目で改善傾向。

➡ 経営層/事務局の運営方針、実施内容が適切であったと言える結果に。

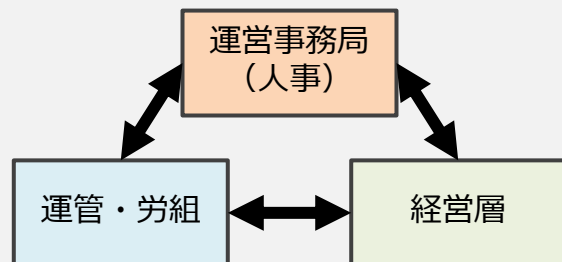
ポイント

- ➡ DCは長期に渡る制度である為、淡々とこなすだけだと、自然と事務局での活動に終結してしまう傾向が見られる。
経営層が定期的に関与できる機会/環境を構築し、体制を広げていく事が肝要。
施策・体制構築に特效薬は無く、地道な活動が「加入者の行動変容」に繋がる。

① 定期的な共有の場の設立

報告事項

- ・ 基本協議事項（P8参照）
+ 外部セミナー情報の展開、
社内アンケート結果共有（資産形成意識調査 等）



② イベントへの積極的関与要請

- ・ 社内研修の周知資料に役員を組込んで通知
→ 会社の『重要イベント』である旨を強調

↓ セミナー案内（抜粋）

2. 人事部からのメッセージ（関人事務本部長）



皆さん、ご安全に。2025 年度より施行する「退職金制度改定」に伴い、これまでの「退職一時金、前払い退職金」制度を廃止とし、資格ポイントの全額を確定拠出年金（DC）へ拠出する事となります。これにより、これまで DC 未加入であった方も DC へ加入いただく事となりますので、改めて制度理解いただける様に全社セミナーを行います。是非ご参加をお願いいたします。なお DC 既加入者においても、従前の『退職一時金積立分』の移換手続きが 2024 年度内に必要です。本研修ではその内容についてもお伝えしますので、DC 加入/未加入に関わらず、是非、積極的なご参加をお願いいたします。

実施検討事項	概要
1) DB/DCのバランス再検討	退職金制度における最適なDB/DC構成の協議 (=従業員目線に立った対応案の検討)
2) DC運用委員会設立	企業年金基金（DB運営）と並行した委員会体制の構築
3) グループガバナンス体制構築	- 子会社も含めた当社グループでの体制構築及び導入支援 ＜直近対応＞ - 子会社B：DC新規導入【連合型】＜26年度開始予定～＞ - 子会社C：導入検討開始（支援サポート中）

ご清聴ありがとうございました。